

研究名： 分娩麻痺術前後の麻痺の回復に関する検討

1. 研究の目的

分娩麻痺においてしばしば肘の屈伸障害が残りますが、神経の回復が得られず運動障害が生じている場合と神経が回復しても他の筋肉と同時に収縮することで運動障害が生じている場合があります。表面筋電図という検査機器を用いてこれらの区別を行うことができますが手術前の表面筋電図の特徴と手術方法、ならびに手術後の回復の傾向を調査することであるべき初期治療を考察し、初期治療に当たる医師への情報を提供することを目的とします。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて2003年10月～2023年3月までに分娩麻痺と診断され、外来診察を受けた症例
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月
- ③ 研究方法：分娩麻痺と診断された症例について、年齢・性別・病歴・既往歴・家族歴・手術をした場合はその術式・上肢の機能評価（表面筋電図、握力、ピンチ力）を診療録の情報から調査し、上肢の機能評価の経過から分娩麻痺の病態との関連性を検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、既往歴、家族歴、病態の特徴、画像所見、手術内容、手術成績、合併症等についての診療録情報

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報
は保守されます。

4. 情報の公表

調査結果は学術誌への論文投稿を行う事によって公表します。

5. 研究実施機関

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年9月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 整形外科 診療部長 高木岳彦（担当者氏名）

住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1 国立成育医療研究センター

電話：03-3416-0181（内 7421）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 整形外科 診療部長 高木岳彦（責任者氏名）